

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 2 月 22 日 更新

事務事業名		アニメ・マンガを活かしたまちづくり事業					☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政 策	3	教育の健康					所属部	教育委員会	課長名	栗木清智	
	施 策	10	生涯学習の推進					所属課	生涯学習課	担当者名	大隅理央	
	施策の柱	37	学習の啓発と参加機会の提供					所属班	生涯学習班	(内線)	1510	
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 7	事業連番 11544	根拠法令					
終了、開始年度		☐ 30年度で終了 ☐ 30年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・市に賑わいや市外へPRを行うことを目的に、マンガ・アニメ・映像等を活用したイベントの実施。 ・市に縁のある漫画家やアニメクリエイター、更にはアニメ・マンガを活かしたまちづくりを行っている団体の協力を得て、市の資源を活かした地域CM制作やマンガ単行本等を作成し市内、市外にPRを行う。 ・コンテンツ産業の誘致に向けた関係団体との協議。
【業務の流れ】	・市に賑わいをもたらす施策として、本市に縁がある漫画家、映像プロデューサーと熊本県内で活躍されているNPO団体、更には専門性がある大学教授を招きシンポジウムを開催する。
【主な予算費目】	旅費、委託料、負担金
【意見や要望】	・マンガやアニメ等を活用した事業は、求めた声がある。 ・この事業は、他の自治体では、あまり取り組まれていなく、将来の市の発展に効果があると思う。 ・コンテンツ企業から合志市で事業を営みたいと要望があっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO) 昨年度オープンした合志マンガミュージアムの運営管理をまちづくり会社に委託し、常設展や企画展、1周年イベントなども開催し、多数のメディアにも取り上げられた。 熊本マンガコンテンツコミッション協議会事務局より、総会にて負担金必要なしとの連絡があったため、負担金の減額を行った。		31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 合志マンガミュージアムの運営管理において、指定管理者制度へ移行。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由	
⇒ ア: 協議を行った回数	回	指定管理者制度活用に伴い、施設の維持管理費が事務事業11721マンガミュージアム維持管理事業より移行されるため増	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
⇒ イ: 市民	回	⇒ ア: アニメ等関連事業をHP・SNS等に掲載した件数	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
⇒ イ: 賑わいのあるまちづくりに取り組む	回	⇒ ア: HPを閲覧された回数	
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠 アニメやマンガを活かした事業に関心があるかを指標とした。			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	ア	回	30	23	30	33	30	30	30	30
	イ									
② 対象指標	ア	回	31	30	30	35	40	40	40	40
	イ									
③ 成果指標	ア	回	107,222	78,093	100,000	79,022	100,000	100,000	100,000	100,000
	イ									
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	12,049	814					
		地方債	千円							
		その他	千円				30			
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	14,526	5,541	19,195	18,410	22,389		
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	26,575	6,355	19,195	18,410	22,419	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正規職員従事人数	人	5	6	5	1	1	1	0
		延べ業務時間	時間	2,220	2,510	1,000	110	200	200	0
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	0	9,929	3,984	433	796	796	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	26,575	16,284	23,179	18,843	23,215	796	796

事務事業名	アニメ・マンガを活かしたまちづくり事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度の後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 アニメ関係機関、県内のアニメ・マンガでまちづくりを目指しているNPO団体等との調整は図られた。しかし、この事業の目標を明確化する必要がある。
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 マンガやアニメを活用した取組みについて、市民参画の事業を実施し市民の理解も得られてきた。今後はコンテンツ企業と連携し更なる発展に努めたい。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 マンガ・アニメを活かした取組みを行っている自治体・大学等が近年増えてきている。今後はこのような自治体等と連携して進めることで成果の向上余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業のためクリエイター創業者育成事業と統合余地あり。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 施設の機能を発揮させるための最小限の予算で執行しているため削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 キューブゾーン（展示室）では入場料を徴しているため、公平性は保たれる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 マンガ・アニメ文化による賑わいのあるまちづくりに市が努めることには異論もあるが、故郷出身の漫画家等を活かすことは市の役割である。

3 評価結果の総括（CHECK）

アニメを活かしたまちづくりで、故郷出身の漫画家を活用することで賑わいがもたれると思われるが、出版社等の著作権関係で協力を得てもらうことが非常に難しい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☒ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策